

こんにちは、SARAJU代表の岩崎と申します。

いつもSARAJUを御愛顧頂きまして、誠に有難うございます。



SARAJU Historyと題して第一話がスタートしたのですが、

もしかしたら一話だけで打ち切りにされるのではと思っていたのですが予想外の反響を頂いて今回も続けさせて頂く運びとなりました大変嬉しく思います。

今回のお話は・・・



第3話

今回は僕が創業してから一番辞めようかなと思った時のお話です。

第1話でもお話しましたが僕は24年前に妻と二人で仁川沿いにあった小さなテナントビルで創業しま

したがオープンして3年くらい経ちお店も何とか軌道に乗り僕と妻を含めて4名で営業していた頃、お隣のお店が出られるという事でそちらも借りてお店を拡張することになったのです。広さは10坪から倍の20坪、セット面3つにシャンプー椅子2つだったお店がセット面5つにシャンプー椅子3つ、大き目のレセプションにカウンセリングコーナーも設ける事となりスタッフも増員しての拡張オープンとなりワクワクの毎日でした。

ところがオープンして間もなくと言うタイミングの悪さか妻に子供ができてしまったのです。子供が出来て嬉しい反面しばらくは妻がお店に出られなくなる事も目に見えていて複雑な心境の毎日を送る中あつと言う間につわりが来て気分が悪いのを我慢して働く妻、あれよあれよという間にお腹もどんどん大きくなってきてぎりぎりまで頑張ってくれましたがもう限界ということで妻なしの営業が始まりました。なんだか予測はしていたのですが妻が担当していたお客様も当然僕がする事になり忙しさと気遣いでイライラする中、妻がいてくれたことでバランスがとれていた人間関係が一機におかしくなり僕とスタッフとがぎくしゃくし出してそのうち一人辞め二人辞めで僕とあと一人のスタッフの2人だけになってしまったのです。4人でしていた営業を二人でするわけですから当然お断りするお客様も多くなりでもそれでは拡張して高くなった家賃も払えない始末、休みを我慢して頑張ってくれていた唯一のスタッフからもいつまで辛抱させるつもりですかと言われ辞める寸前まで来ており、かといって簡単に人は見つからないし途方にくれる毎日でした。そんな時取引先に相談したところスタッフを派遣してくれるお店があるという話を聞き齋にもする思いでそちらにお願いしたのです。ところが後でわかったことなのですがこのサロン肩つばもので結構高額な派遣料を取るのに実は練習中のスタッフでそのお店ではまだカットが合格していないのにカットが出来ますとうちではカットに入りい言わばお金を取りながらうちのお客様を練習モデルにしていたのです。でも何となくそれが分かっているお店の売上の事を考えると断り切れない自分がありしかも仮にお客様がそのスタッフの事を気に言ってくれたとしても次の時にはいるとは限らないわけで…

僕はもう絶望の毎日でした、自分は何の為にお店を出したのか、お客様に喜んで頂くためにオープンしたはずの店なのに売り上げの為にお客様に迷惑をかけて自分自身も理不尽だとわかっていてもその状況をやり続けたいと仕方のない日々が続きました。

そんな中で僕の唯一の楽しみはすべての事をほんのひと時でも忘れさせてくれるお酒とやがて生まれ授かった子供の寝顔を見る事だった事を今でも覚えています。

そんなこんなで長い年月が経ちましたがそんな事があったからこそ今現在共に頑張ってくれているスタッフには感謝の気持ちで一杯です、ありがとうございます！